

会員の皆様、

多才な活躍をする女優ダニ・スズキさんの昼食講演会が4月4日に開催されますので、是非皆様ご参加ください。女優や監督、脚本家として受賞経験のあるダニさんは、ブラジル国内外で講演会を行なっています。

CCBJ主催の第17回ブラジルフェスティバルは、東京で7月20日、21日に開催されます。ブラジルや他の中南米諸国の音楽や料理、雑貨から各種サービスをお楽しみいただけます。

今月号では、国際協力銀行企画部門調査部の中島隆志氏に、「2023年度 海外直接投資アンケート調査結果」についてご寄稿いただきました。同調査の有望国ランキングでブラジルは昨年より順位を上げました。

CCBJは4月16日に在日米国商工会議所とともに、デンマーク・ギリシャ商工会議所とのネットワーク構築のためのBBQ懇親会を開催します。幅広い人脈を構築するのに良い機会となります。皆様のご参加をお待ちします。

申告の必要な国外資産や、投資誘致のための優遇策、ブラジル着の国際便増便の可能性に関する記事も掲載しましたので是非ご覧ください。

どうぞよろしくお願いします。

CCBJ会頭
行徳セルソ

(寄稿)

「わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告」
——2023年度 海外直接投資アンケート調査結果（第35回）——

株式会社国際協力銀行 企画部門 調査部
中島 隆志

1. 今年度調査のポイント

株式会社国際協力銀行（JBIC）は、「わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告」を発表した。

今年度調査での最大のポイントは、毎年実施している有望国ランキングで昨年度中国を抜いたインドが中国をさらに引き離し、2年連続の首位を維持した点である（図表1）。その中身も今回は大きく変わっており、インドを有望とした企業のうち45.8%が新規投資または追加投資に係る事業計画があると回答し、昨年度と比較して8.3ポイント増加した。これまでの「イメージ先行」から脱却しつつあるとみられる。

昨年度インドに抜かれ2位となった中国は、米中対立の長期化・中国経済の減速など、さまざまな懸念の高まりを背景に、今年度はさらに10%ポイント近く得票率が減少し、3位となった。脱中国に向けた動きととれる。

米国は、市場の成長性や将来性という点での評価は高いものの、足元の労働コストの上昇などが響き、得票率の減少に繋がった。米中の得票率の減少分がASEAN上位国やメキシコ等に分散し、特にメキシコは日本企業にとって米国のニアショアリング先として期待されている。

今年度初の2位となったベトナムについては、米中の得票率の大幅な減少で順位を上げた。実際、得票率で見ればほぼ横ばいだ。ただし、ベトナムは、昨年度も4位と日本企業のアジアでの海外生産拠点として安定した支持を集めていることは確かで、今回も脱中国の受け皿への期待にもつながったとみられる。

※今年度調査では2023年7月に調査票を発送し、9月にかけて回収したもの。（対象企業数987社、有効回答数534社、有効回答率54.1%）。

順位		国・地域名 (国)	回答社数 (社)		得票率 (%)	
2023	← 2022		2023 395	2022 387	2023	2022
1	—	インド	102	140	43.5	49.3
2	↑	ベトナム	119	108	30.1	28.4
3	↓	中国	112	130	28.4	33.8
4	↓	米国	107	139	27.1	35.9
5	↑	インドネシア	97	77	24.6	21.3
6	↓	タイ	80	80	21.0	23.2
7	↑	パキスタン	42	27	10.6	7.0
8	—	フィリピン	35	28	8.9	7.3
9	↓	マレーシア	29	33	7.3	8.5
10	↑	ドイツ	23	23	5.8	5.9
11	↑	韓国	17	20	4.3	5.2
12	↑	韓国	17	17	4.3	4.4
13	↑	フランス	17	16	4.3	4.1
14	—	オーストラリア	13	13	3.3	3.5
15	↑	インドネシア	13	14	3.3	3.6
16	—	英国	7	14	1.8	3.6
17	↑	フランス	7	8	1.8	2.1
18	↑	スペイン	7	3	1.8	0.8
19	↑	トルコ	6	9	1.5	2.3
20	↑	ロシア	6	7	1.5	1.8
21	↑	ロシア	6	3	1.5	0.8
22	↑	ブラジル	6	6	1.5	1.6
23	↑	ブラジル	6	6	1.5	1.6
24	↑	ブラジル	6	6	1.5	1.6
25	↑	ブラジル	6	6	1.5	1.6
26	↑	ブラジル	6	6	1.5	1.6
27	↑	ブラジル	6	6	1.5	1.6
28	↑	ブラジル	6	6	1.5	1.6
29	↑	ブラジル	6	6	1.5	1.6
30	↑	ブラジル	6	6	1.5	1.6

(図表 1 : 中期的な有望事業展開先国・地域)

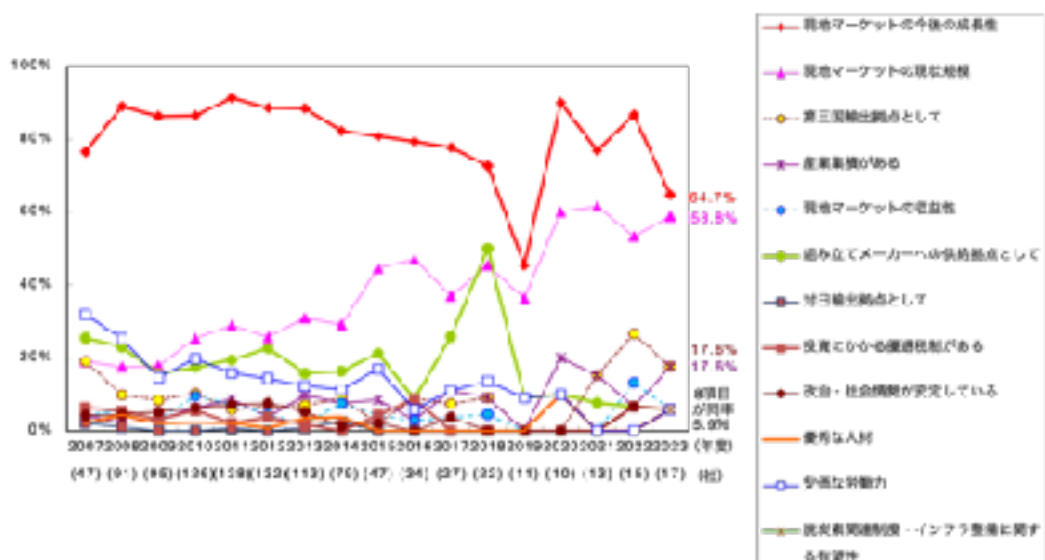
2. 有望国ランキングにおけるブラジルの位置づけ

ブラジルは、本調査の有望国ランキングで昨年度より順位を2つ上げ、11位にランクインしている (得票率 : 4.3%、昨年度比 +0.2ポイント)。

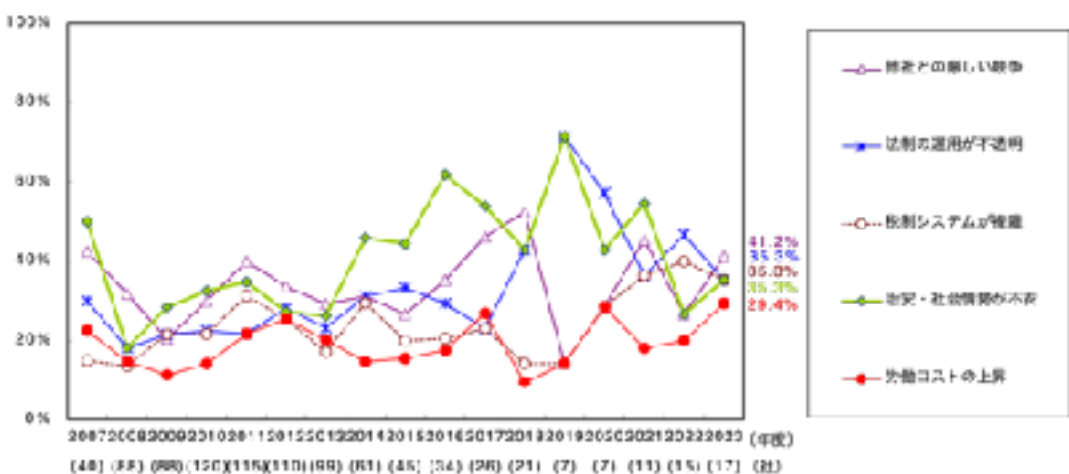
回答企業のうち、ブラジルに生産拠点を有している企業は51社で、業種別にみると化学 (11社)、自動車 (10社)、電機・電子 (6社)、一般機械 (6社) が多い。今年度調査でも販売拠点数 (61社) が生産拠点数を上回るブラジルの特徴は継続して確認することができた。

業種別にみると化学 (5社) が最も多い結果となった。企業がブラジルを有望視する理由としては、「現地マーケットの今後の成長性」 (64.7%)、「現地マーケットの現状規模」 (58.8%) とマーケットへの期待が高いことがみてとれる結果となった (図表 2)。課題については、「法制の運用が不透明」、「税制システムが複雑」の回答割合が昨年度よりも減少し、日本企業にとって進出しやすい環境が整えられつつあることが、順位を2つ上げる要因になった可能性がある (図表 3)。一方、「他社との厳しい競争」や「労働コストの上昇」は昨年度よりも割合が増加しており、注視が必要である。

長期的有望事業展開先国 (今後10年程度) では、昨年度よりも一つ順位を上げ、10位という結果になった (図表 4)。業種別でみると化学業界からの得票率の割合が最も多い。世界最大の農薬市場であるブラジルにおいて、主要作物の作付面積が拡大していることもあり、農薬需要は順調に推移している。



(図表2：ブラジルの有望理由の推移)



(図表3：ブラジルの課題の推移)

順位	← 2022	国・地域名 (計)	回答社数 (社)		得票率 (%)	
			2023	2022	2023	2022
1	—	インド	147	119	55.5	50.6
2	↑	ベトナム	79	66	29.8	28.1
3	—	米国	72	69	27.2	29.4
4	↓	中国	64	86	24.2	36.6
5	—	インドネシア	61	53	23.0	22.6
6	—	タイ	57	45	21.5	19.1
7	↑	メキシコ	22	19	8.3	8.1
8	↑	マレーシア	20	17	7.5	7.2
9	↓	フィリピン	18	22	6.8	9.4
10	↑	ブラジル	16	13	6.0	6.6

(図表4：長期的な有望事業展開先国・地域)

3. ブラジルの強み

ブラジルは南米で人口が最も多い。経済もコロナから回復基調（IMFによると2023年10月時点では2023年度の経済成長率は3.08%と推計されている）にあり、年齢中央値も35歳（2022年）とまだ若く、経済面・人口面からみても成長市場である。今後、世界経済をけん引するグローバルサウスの一角として、世界から投資を呼び込むという観点からそのマーケットの成長性などが期待されるほか、2025年のCOP30開催国として、気候変動への取り組みも加速させるとみられる。

また、産業面でみれば、ブラジルは農業大国である。一般の食用に加え、世界的な脱炭素に向けた「バイオエタノール」なども加味した農業生産・農薬需要の拡大は、日本の化学メーカーにとっても事業拡大の機会となることが期待される。

また、ブラジルの自動車業界ではガソリンへのエタノール混合が義務付けられており、2015年以降、エタノールが27%混ざったガソリンが販売されている。実際、日本の大手自動車メーカーが、エタノール、ガソリン、混合燃料のいずれでも走るフレックス燃料ハイブリッド車を現地で近々製造開始すると発表しているが、こうした動きは加速するとみられ、今後も引き続きブラジル自動車業界の動向にも注目していきたい。

※2023年度「わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告」全文は下記リンクからご覧いただけます。↓

[わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告 | JBIC 国際協力銀行](#)

（経済）

国外資産 中央銀行への申告必要

ブラジル居住者が国外に保有する有価証券や、財産、資産などは、状況に応じて毎年または四半期ごとに中央銀行に申告する必要があります。申告義務があるのはブラジル国内に居住するか住所を有する個人や、本社を置く法人で、次の条件が当てはまる場合です。

- ・ 各基準年度の12月31日現在で、100万米ドル、または他の通貨でそれに相当する資産を保有する個人または法人。
- ・ 各基準年度の3月31日、6月30日、9月30日現在で、1億米ドル、または他の通貨でそれに相当する資産を保有する個人または法人。

無申告または法令で定められたその他の場合の罰金は、2500リアルから25万リアルで、50%の増額が課される場合もあります。

詳細はこちら：<https://www.bcb.gov.br/estabilidadefinanceira/cbe>

出所：ブラジル中央銀行

税制優遇措置で投資誘致

外資誘致を目的としたブラジルの税制優遇措置の詳細が発表されました。レナン・フィーリョ運輸相は、「外国投資家に向けては、彼らの主な懸念事項である法的安定性の確保された契約や、リスクの軽減、社会と環境の持続可能性を提供します。さらに、インフラ債券の発行に関する新法も承認されたことで、インフラ分野向けに新たな税制優遇措置が講じられる見込みです」と述べました。

詳細はこちら：<https://agenciagov.ebc.com.br/noticias/202403/incentivos-fiscais-e-mitigacao-de-riscos-atraem-investidores-estrangeiros-a-projetos-de-infraestrutura-no-brasil>

出所：運輸省

ブラジル連邦政府 国際線航空路線拡大のためのパイロットプログラムを導入

航空会社や空港との官民パートナーシップによりブラジル着国際線の増便や座席数増加を図ることを目的とした国際観光促進プログラム (PATI) の公告がブラジルの官報に掲載されました。同プログラムは、観光省と港湾空港省の連携により国家民間航空基金 (FNAC) から供与される資金を財源としており、ブラジル政府観光局 (EMBRATUR) が運営するものです。新規路線の誘致ツールの調整期間であるプログラムの第1段階では、700万リアル程度の資金が投入される見込みで、その半分は公的資金が使われる予定です。

詳細はこちら：<https://agenciagov.ebc.com.br/noticias/202403/governo-federal-lanca-programa-piloto-para-ampliacao-da-conectividade-aerea-internacional>

出所：EMBRATUR

(CCBJ)

著名女優による昼食講演会

在日ブラジル商工会議所－CCBJは、4月に来日する著名女優ダニー・スズキ氏を招いて昼食講演会を開催します。講演のテーマは「ヒューマナイズド・コミュニケーション」です。皆様奮ってご参加ください。

仮想取引とAIの世界では、共感的なコミュニケーターが王様と言えます。同氏は、作家、女優、プレゼンター、プロデューサー、監督、脚本家、デジタルインフルエンサー。TedXにスピーカーとして3回出演、The Voice Brasilという番組やMultishowチャンネルにも出演。同氏は成功の代名詞とも言え、監督賞を4回受賞しています。

講演はポルトガル語のみで行われます。

[プログラム]

12:00 - 開演
12:05 - ブラジル大使館挨拶
12:10 - CCBJ挨拶
12:15 - 昼食
12:35 - Danni Suzuki講演
13:00 - Q&A

13:10 - スポンサー紹介
13:20 - 写真撮影
13:30 - 終演

[開催要項]

開催日：2024年4月4日（木）
時間：12時～13時30分（11時30分開場）
会場：レストラン "Café Legato"（カフェ・レガート）
住所：東京都渋谷区円山町 3-6 E スペースタワー 15F
アクセスマップ：<https://maps.app.goo.gl/n7AGNSzUQ41tHUu17>

スポンサー企業： ブラジル銀行、Brastel, Kowa, Taiyo Corporation, WEG

【参加料】

- CCBJ会員 ￥6,000
- 非会員 ￥7,000

※参加申込み締め切り：3月29日（金）

※参加料金の支払いは銀行振込のみ、支払期限3月29日（金）
※参加キャンセルは4月1日（月）まで。
※申込後は当日不参加の場合でも参加料金全額をお支払いただきます

お申込みはこちらのリンクから：
<https://forms.gle/u3pT3BuR6FHH459E7>

ブラジル&ラテンフェスティバル

在日ブラジル商工会議所主催の第17回ブラジルフェスティバルは、7月21日と22日に開催されます。実行委員会は、日本国内最大のブラジルの祭典の開催に向けて鋭意準備を進めています。今年のフェスティバルには、ブラジルだけでなく他のラテンアメリカの国々の音楽や料理も登場します。入場無料で、音楽からグルメ、子ども向けのアトラクションまでお楽しみいただけます。

日時：7月20日、21日、11時から19時

会場：東京・代々木公園

入場無料

主催：在日ブラジル商工会議所

ホームページ：<https://www.festivalbrasil.jp/ja/>

ACCJ & CCBJ Collaboration Invitation " Multinational Networking Event"

米国ほか4か国商工会議の懇親BBQのご案内
（ブラジル・アメリカ・デンマーク・ギリシャ）

米国ほか4か国商工会議の懇親BBQのご案内

今般、CCBJは在日米国商工会議所の招きに応じて、4か国商工会議所会員他とのネットワーク構築のためのバーベキュー懇親会に参加することといたしました。
CCBJメンバー以外の人脈を構築するに良い機会と思われますので是非ご参加ください。
会員の皆様のご参加をお待ちします。

開催日時：2024年4月16日（火）18:30～20:30

会場：Midtown BBQ Tokyo

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋, 3-10-9

i-Garden Terrace (2F)

主催：在日アメリカ・ブラジル・デンマーク・ギリシャ各国商工会議所

参加会費：会議所会員 6,300円 非会員 9,700円

申込期限：2024年4月9日（木）16:00

キャンセル期限：同上

申し込みはこちらから：<https://accjevent04162024.peatix.com/>